

青沼達也選手 (CMSC 帯広) 砂川で見事優勝!

'88JMSダートラシリーズ

第4戦 7月2~3日 山形県米沢市

第5戦 8月6~7日 北海道砂川市

CMSC山形・砂塚選手 6位入賞

第4戦には、CMSCより、荒井信介(群馬)、鈴木功敏(福島)、砂塚明男(山形)の3選手が参戦。第2戦4位、第3戦2位と好調の荒井選手の活躍が期待されたが、おしくも入賞はならず、ギャラン同士による激しいトライアルの結果砂塚選手が6位に入賞した。道産子の意地を見せたCMSC帯広・青沼選手

続いて行なわれた第5戦では帯広の青沼選手が大活躍。「まさかこのメンバーで勝てるとは思わなかった」という青沼選手は、1本目1分44秒25のトップタイム。続く2本日は、コースの荒れが少なかったの思い切って勝負をかけるも、ミッショントラブルで1秒強のタイムダウン。だが、最大の強敵、湯本ブルーバードのオーバーアクションのドリフト走行を見て勝ちを確信。「内地の人は、やはりハイスピードコースに慣れていない人が多いでしょう。今回のトライアルは、テクニカル部分がなかったおかげで勝たせてもらいました。」とのコメントのとおり見事北海道チャンピオンシリーズとのダブルタイトルがかかった一戦での優勝を決めた。

→第4戦米沢で6位に入賞した砂塚選手



↑鈴木功敏選手はA111位



↑荒井選手は今回は奮わず



↑ギャランに乗り替えて「絶好調」の青沼達也選手は、見事A11優勝

CMSC帯広 青沼 達也



いままで北海道チャンピオンシリーズをFF車で参加していましたが、途中でギャランを借りた途端、一躍ポイントリーダーとなってしまう、それではということで自分のギャランを注文しました。しかしながら、今回のトライアルには納車が間に合わず、あいかわらず、レンタル車でのおっつけ本番。それでも勝ってしまうほど、ギャランが速しが感想です。



↑砂塚選手は第5戦では、4位であった



↑CMSC札幌、小肩秀紀選手←CMSC帯広の富樫選手はランサーで参戦

'88CMSCチャレンジカップ栄光は誰の手に?

'88CMSCチャレンジカップの8月末日までの集計が各クラブより報告された。クラブ別のポイントでは、6月~8月の3ヶ月間で482ポイントをかき集めた

CMSC山形が、ダントツのトップ。これは、金田、杉山、砂塚選手のスラローム部門での活躍があってのこと。また、全日本を始めラリー部門で活躍する

選手の多い、青森、札幌も250ポイント以上をかき集めて活躍を見せている。クラブ別ポイント以外に個人ポイントも激しい争いを見せ今後の展開が注目される。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	71	212			283
札幌	129	254			383
青森	104	250			354
岩手	0	0			0
山形	267	482			749
仙台	20	80			100
福島	181	223			404
栃木	54	43			97
群馬	196	153			349
埼玉	11	26			37
岐阜	26	22			48
島根	77	108			185
香川	96	96			192

●ラリー・ドライバー部門

吉川 幸彦	札幌	116
千田 俊二	札幌	102
塩野谷浩光	群馬	90
館山 正嗣	青森	84
大西 康弘	青森	84
奥山 高志	仙台	64
福士 文秀	青森	50
菅野 茂	福島	40
金田一直志	青森	36
小川日出生	山形	34

●ラリー・ナビゲーター部門

佐藤 忠宜	福島	104
永沢 裕之	青森	58
葛西 一省	青森	56
内田 昭佳	群馬	46
巻口 実	札幌	20
三田 行男	埼玉	16
青木 功	栃木	15
本田 弘	岐阜	12
石尾 寿一	札幌	10
益子 友幸	栃木	10

●スラローム部門

金田 至	山形	180
荒井 信介	群馬	180
杉山 敏夫	山形	167
砂塚 明男	山形	164
青沼 達也	帯広	158
鈴木 功敏	福島	146
佐藤 信一	福島	102
白井 修	香川	102
小肩 秀紀	札幌	96
杉坂 啓一	島根	88

●レース部門

小川日出生	山形	48
相沢 いく	埼玉	8
清水 潤	埼玉	8
川口 法行	栃木	6
佐藤 政一	仙台	4
金田 至	山形	2
長南 茂夫	埼玉	2
今野 広志	仙台	2

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
ポイント B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A=ラリー.....全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム...全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMSシリーズ
レース.....全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B=それ以外の競技会
↑リタイアには予選不通過も含む

CMSC主催イベントでもVR-4大活躍

CMSC島根

'88CMSC島根ダートトライアル

8月21日 比田スポーツランド山陰

8月21日、快晴の中、日本海シリーズ第6戦CMSC島根ダートトライアルが、比田スポーツランド山陰にて開催された。前日までの雨のため、ぐちゃぐちゃのコースコンディションの中、1本日のベストタイムは小松桂三ギヤランの2分39秒92。多少良くなったコンディションで行なわれた午後のトライも40秒を切る車はなく、唯一小松選手が2分38秒15と自己ベストを更新し優勝した。標高635mの起伏に富んだ今回のコースでは、やはりVR-4は強くブルーバード、ファミリアを寄せつけなかった

(レポート 国谷益雄)



唯一40秒を切った小松桂三選手



2位の西村勝選手



3位には山田伴治選手が

伊吹浩明選手主催クラブの面目を保つ3位入賞

CMSC帯広

第4回CMSCコルトダートトライアル

8月21日

第4回を迎えるCMSC帯広コルトダートトライアルは8月21日、前日からの小雨にたたられたウェットな状況で開催。スラロームとフルターンが各2ヶ所というテクニカルコースに各車悪戦苦闘。4WDクラスで優勝候補筆頭の伊吹ギヤランも、スタスタのフルターンで大きくアウトにふくらみ、タイム・ロス上りのスラローム区間で挽回したもの、パワーを生かし切れずに結局3位。4位には、富樫昭彦ランサー、6位に福本光志ランサー、7位中村洋二ランサーと当クラブ員が続き終了した。

(レポート 青沼達也)



4WDクラス 3位
三菱賞 1位には、伊吹浩明選手が

4WDクラス 4位
三菱賞 2位、富樫昭彦選手

FRクラス 5位
高橋英俊選手



4WDクラス 6位、三菱賞 3位には同じく帯広の福本光志選手が



山内伸弥選手を迎え盛大に実のある練習会開催

CMSC岐阜

練習会

6月18・19日 位山スキー場

6月18・19日の両日、快晴のもと山内伸弥選手を講師として招き、位山スキー場駐車場にて練習会を開催しました。19日当日は、伸弥選手の生の走りが見られ、又実技指導が受けられるとあって、他クラブを始め多くの参加があり、にぎやかな雰囲気での練習会となりました。コースは高速コーナーとパイロンを周回する複合コースを設定。初めに講師に模範走行をしていただき、その後クラブ員が走り、それぞれ批評を受ける形で進行。質疑応答の時間を設けた後、タイムトライアルを行いました。

わずかな時間ですが、適切なアドバイスにクラブ員の走りも変わり、充実した練習会となりました。今後機会があれば、このような企画を主催してほしいという参加者の声も多数ありました。

(レポート 山下鉄明)



山内伸弥講師による好評の同乗走行



会場となった位山スキー場駐車場



山内伸弥講師と、運営に当たったCMSC岐阜のスタッフ

60台のエントリーを集め、初のジムカーナ練習会開催

CMSC青森

CMSC青森ジムカーナ練習会

7月31日 青森県岩木山

全日本クラスのリリストの会員が多いCMSC青森で、初のジムカーナ練習会が7月31日、天候に恵まれた、岩木山麓の百沢スキー場にて開催された。

当日は近県他クラブを始め60台の車両がエントリー、ギャラリーも200名を超す盛大な練習会となった。講師には、東北地区ジムカーナシリーズのAクラスチャンピオン小館久氏に依頼。参加者は20代を中心とした若者が多く、東北地区でのジムカーナ人気を反映しており、次回は競技会の開催をという声も多く聞かれた練習会であった。

(レポート 鶴ヶ谷慶市)



会場となった岩木山百沢スキー場には、60台のエントリー車が集まった



CMSC勢、東北ラリーシリーズで大活躍

'88JMRC東北ラリーシリーズ

第3戦 ナイトラリーin十和田

第4戦MSC十和田秋のラリー

CMSC仙台・奥山選手・ミラージュでデビューウィン

今年からミラージュで東北ラリーシリーズBクラスに参戦中の奥山高志です。今回は6月25~26日青森で行なわれたシリーズ第3戦ナイトラリーin十和田のレポートを致します。

ミラージュの東北ラリー界デビュー戦となったこのラリーには、CMSC山形の渡辺俊昭選手も参加。改造車検取得の関係で、クルマの完成は当日の朝、試運転なしのスタート。しかし不安もダートに入ると一変。ミラージュのダート走行性の良さ、初めて運転する車とは思えない程の操縦性に、車内でナビともども驚嘆の声を上げたほど。競技のほうは、1ステージを2位で上がり、2ステージ最終区間の悪路で逆転して、デビュー戦を優勝で飾ることができました。(レポート 奥山高志)

館山、富士、金田一選手、第3戦2・3・4位
第4戦3・4・5位とそれぞれ大健闘!

一方、第3戦のCクラスでは、館山選手が1位の選手と同減点ながら規定により2位に甘んじた。

続く第4戦は8月20~21日十和田湖周辺の惣部林道を中心とした200キロのコースで開催。今回もSSの設定はなくナビゲーション主体のラリー。走り屋揃いのCMSC青森勢は力を出し切れず、館山正嗣選手の3位が最高位であった。(レポート 鶴ヶ谷慶市)



↑東北地区にCMSC仙台旋風を巻き起こした奥山高志選手の乗るミラージュ



↑第3戦Bクラス優勝の奥山選手(左)



↑CMSC山形渡辺俊昭選手



↑第4戦Cクラス5位の金田一選手



↑第4戦、富士選手はCクラス4位に



↑CMSC青森きっての走り屋 館山正嗣選手は、SSなしのため、力を出し切れず



↓CMSC山形、小川選手

CMSC札幌・吉川、千田両選手シリーズポイントでも上位に!

'88JMRC北海道ラリーシリーズ

第5戦 レイクサイドラリー

第6戦 ラナウェイ悪路ポリスラリー

北海道の地区シリーズでの活躍が目立つのが、全日本ラリーにも参戦しているCMSC札幌の吉川選手と千田選手。7月3日に洞爺湖畔周辺250キロのコー

スで行なわれた第3戦では、前車のほりに苦戦しながらも吉川選手が4位に入賞。続く第6戦のランウェイ悪路ポリスラリーでは、千田選手がギャランで第1SSよりトップを出す好走を見せ、最後まで優勝争いに加わりながらの2位に入賞。シリーズポイントでも、千田選手2位、吉川選手3位と並びシリーズの終盤を迎えている。

(レポート 横山 浩)



↓地区戦にはギャランで参加の千田選手

↑吉川選手も constants に上位に

大西康弘選手 (CMSC) 青森 ツール・ド・ミカサで3位入賞



↑3位となったツール・ドミカサの表彰台でカップを手に笑む大西康弘選手と村上平選手。第3戦3位の入賞でシリーズポイントでも3位に浮上

全日本ラリー選手権

第4戦 7月17日 ツール・ド・ミカサ'88

第5戦 8月6~7日 RTN THE NIGHT '88

CMSC青森・大西選手シリーズポイントでも3位に7月16・17日に行なわれた全日本ラリーシリーズ第4戦ツール・ド・ミカサには、CMSCより富士ギャラン、吉川ギャラン、大西ギャラン、千田ミラージュの4台が参戦。中でも今シーズン好調の大西康弘/村上平組ギャランは、第1SSからトップに1秒遅れながらの2位の好スタート。好調ギャラン軍団の中にまじりながら、1番時計こそ出ないもののコンスタントに好タイムで走り切り、堂々の3位入賞を果たした。また、同じCMSC青森から出場の福士文秀/永沢裕之組は16位、CMSC札幌の吉川幸彦/小田彰組は21位の成績であった。Bクラスでは、CMSC札幌の千田俊二、横田龍史組がミラージュで参戦し、8位の成績を残した。3位に入った大西選手は第4戦終了段階のシリーズポイントで3位につけた。

福士選手、主催者のゴール設定ミスで不運のリタイア

第5戦のRTNザ・ナイトは岐阜、石川の両県にまたがる山岳コースで8月6~7日に開催。今回も、シリーズチャンピオンを狙う大西選手を始め、福士選手、CMSC埼玉の長沢太郎選手の3台が参加。大西選手は9位、長沢選手は15位で完走。残念ながら福士選手、危険なゴール地点設定のためキャンセルとなったSS3でクラッシュしリタイアしてしまった。



↑CMSC札幌の吉川選手もギャランで参戦



↑ミラージュでの参加は千田選手



↑福士選手はCクラス16位に

●ツール・ド・ミカサ'88

<Cクラス>

順位	ドライバー	ナビゲーター	車名	所属クラブ
1位	井上 潔	大溝 敏夫	ギャラン	
2位	綾部美津雄	森 哲也	ブルーバード	
3位	大西 康弘	村上 一平	ギャラン	CMSC青森
16位	福士 文秀	永沢 裕之	ギャラン	CMSC青森
21位	吉川 幸彦	小田 彰	ギャラン	CMSC札幌

<Bクラス>

8位	千田 俊二	横田 龍史	ミラージュ	CMSC札幌
----	-------	-------	-------	--------

●RTN THE NIGHT '88

<Cクラス>

1位	神岡 政夫	中原 祥雅	ブルーバード	
2位	松本 誠	岡本 徹	ファミリア	
3位	綾部美津雄	森 哲也	ブルーバード	
9位	大西 康弘	村上 一平	ギャラン	CMSC青森
15位	長沢 太郎	吉田 英一	ミラージュ	CMSC埼玉



↑CMSC埼玉、長沢太郎選手はミラージュ・サイボーグ・ターボでエントリー

CMSCより4台がエントリー 小川日出生選手 (CMSC) 山形 4位に

ミラージュカップ東北シリーズ

第3戦 7月30日 スポーツランド菅生

ミラージュカップの東北シリーズには、CMSCより山形、栃木、埼玉、仙台の4クラブが現在エントリーし、シリーズ全4戦を戦っている。シリーズ第3戦は7月30日、仙台にあるスポーツランド菅生で開催され、山形より小川日出生選手、埼玉より清水潤選手、栃木より川口浩行選手、仙台より佐藤政一選手の4名が参加。予選は小川選手4位、清水選手13位、佐藤選手15位、川口選手16位の順で通過。12周で行なわれた決勝レースでは、小川選手が4位に入賞した他、佐藤選手13位、清水選手15位、川口選手15位の順でレースを終了した。



↑CMSC埼玉の清水選手を追い、CMSC仙台佐藤選手

●ミラージュカップ東北シリーズ第3戦

順位	ドライバー	車名
1位	尾崎 幸彦	PUMAスポーツイトウコルト
2位	太田 隆	HKSプロセンスミラージュ
3位	伊藤 勝一	イエローハットミラージュ
4位	小川日出生	山形三菱RSオガワミラージュ
13位	佐藤 政一	仙台三菱トランビオミラージュ
14位	清水 潤	アドバンCMSC埼玉三菱コルト
15位	川口 法行	CMSC栃木ミラージュ



↑4位の小川選手は、あと一步のところまで表彰台を逃した



↑一勢にスタートしたミラージュワンメイク仕様車